

機関番号：16301

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20401043

研究課題名（和文）中国雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究

研究課題名（英文）Human Geographical Study on the Change in Ethnic Minority Areas in Yunnan, China

研究代表者

張 貴民（ZHANG GUI-MIN）

愛媛大学・教育学部・教授

研究者番号：50291620

研究成果の概要（和文）：雲南省の少数民族地域は改革開放政策によって大きく変容してきた。麗江市近郊の納西族は伝統的耕種業から騎馬場の経営に転換し観光業から収入を得ている。西双版纳の基諾族は焼畑からゴム・茶等の換金作物にシフトし、高地を利用してヤクを移牧するチベット族は市場向けの乳製品の製造と販売に転換し、付加価値の高い農業を目指している。新平県の花腰傣は商品作物のサトウキビや野菜を栽培する一方、民族文化の発掘、継承とその商品化を進めている。

研究成果の概要（英文）：Ethnic minority regions in the Yunan Province have changed greatly through the policy of reform and openness. The Naxi People, from around Lijiang, are earning an income from tourism by having shifted from their traditional agriculture to conducting horse racing. The Jinuo People of Xishuangbanna Region have shifted from slash-and-burn farming to rubber and tea cultivation, and Tibetans are grazing yaks in the highlands to produce and sell cheese and butter in order to realize a higher income. The Huayao Dai peoples of the Xinning Prefecture are growing sugar cane and vegetables commercially, while promoting the commodification of their own ethnic culture.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	5,400,000	1,620,000	7,020,000
2009年度	4,400,000	1,320,000	5,720,000
2010年度	2,700,000	810,000	3,510,000
年度			
年度			
総計	12,500,000	3,750,000	16,250,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：人文地理学・人文地理学

キーワード：少数民族、人文地理学、農村研究、地域研究、中国、雲南省

1. 研究開始当初の背景

1978年の改革・開放政策による社会主義市場経済の導入によって、中国の社会は大きく変化し、著しい地域格差をもたらした。中国東部沿海地域は、工業化に伴って発展が著しく、雲南省のような内陸部は工業化があまり進まず、開発から取り残された。

また、中国は漢族を含め56の民族から成る多民族国家で、マジョリティである漢族は全人口の92%を占める。しかし、人口の地理的分布でみると、残り8%の少数民族が国土面積の64%を占めている。したがって、少数民族地域の変容をとらえることが、中国の地域研究にとっては、きわめて重要な視点である。特に、本研究の対象地域である雲南省には、全国55の少数民族のうち、24もの少数民族が居住している。これらの人々は、その地域の複雑な自然環境と相俟って、多様な民族文化を育んできた。つまり、雲南の少数民族は、例外なく大きく自然環境に依拠し、それを資源化した形態の生業を営んできた。

以上のようなコンテキストのなかで、改革開放政策下における少数民族地域がどのような方向をめざし、どのように変容しつつあるかを探ることは、不可欠の視点といえる。それによって、中国の内陸部の地域変容、さらには中国社会全体の変化の方向性を明らかにすることができると考える。

雲南省の少数民族地域において、従来の生業を維持しながらも、市場経済の要素を積極的に取り入れ、過度な開発に伴う環境問題や民族地域の特有な民族的景観の保全も課題である。

2. 研究の目的

改革開放政策下の研究では、中国東部沿海地域の都市や産業の変貌を分析したものが目立つ。これに対して、周辺に位置する内陸部の少数民族地域においても、農村・農業、そして民族観光などが大きく変容しつつある。

本研究では、改革開放政策下における少数民族地域がどのような方向を目指し、どのように変容しているかを探ることは、中国の内陸部の地域変容、さらには中国社会全体の変化の方向性を明らかにすることができると考え、市場経済と結びつきやすい生業形態、つまり農耕や農業を含む生業および観光に着目し、雲南省における少数民族地域の変容を明らかにすることとした。具体的に、3年

間の集中的なフィールド調査に基づき、農耕文化と観光地化の相互関係を把握し、ここ20数年の少数民族地域の変化のプロセスを明らかにすること、雲南省における少数民族地域の変容とその地域的意義を解明することであった。

具体的に次の3点を明らかにしたい。第1に変化の要因である社会主義市場経済化と変容した少数民族の生業はどのように相互作用しているのか、第2に調査対象地域における農業経営の転換、つまり市場経済へのシフトは如何に行われているか、そしてそれぞれの地域にどんな特色があるか、第3に少数民族が自然環境・農村空間と民族文化をどのように評価し、それをどのように商品化しているのか、である。そして、これらの調査結果を雲南省の総合的なコンテキストのなかに位置づけることで、少数民族社会の有り様を統一的に把握しようと試みる。

3. 研究の方法

本研究はフィールドから雲南の民族地域の課題を発見・解明することを基本姿勢とし、現地では4つの代表的な事例地域を設定して詳細な実証研究を行なう。本研究の目的を達成するために、研究代表と3名の研究分担者を組織し、更に現地の雲南大学などの研究者に現地での研究協力を要請する。

人文・社会科学系の研究では、本来、研究者個人の目的や予定にあわせて、個別に調査研究をすることが望ましいが、本研究にかかわる研究者は、共同で総ての対象地域を調査する。これは、特定の地域に関する様々な視点からの分析が可能になること、調査地において共同討議を深められることなど、本研究の目指す地域の深い理解を可能にするというメリットがある。

現地調査では、研究代表者は全体責任を持つが、それぞれの事例地域の主要担当者を中心に実施する。具体的に、杜国慶は雲南省の少数民族地域に関するマクロ的な分析、池俊介は麗江市近郊の納西族地域の変化に関する調査、白坂 蕃は西双版纳の基諾族と北西部のチベット族の移牧についての調査、張貴民は新平県の花腰傣に関する調査、をそれぞれ担当する。メンバーによる共同調査に基づき、調査データを共有しながらも、各自が調査テーマを分担して、分析・執筆を行なった。

4. 研究成果

主な研究成果として、雲南省全体に関するマクロ的な分析と事例地域に関する研究に大別できる。

調査地域全体に関する分析には、杜 国慶による「雲南省の自然と民族に関する諸問題」、杜 国慶の「統計データに見る雲南省の社会経済構造と変化」がある。これらのマクロ的な分析と考察は次の事例地域に関する分析の基礎となっている。

事例地域の研究としては、白坂 蕃による「中国雲南省西双版纳の基諾族にみる生業の変貌」、白坂 蕃と杜 国慶による「中国雲南省北部のチベット族によるヤクの移牧」、池 俊介による「拉市海周辺における乗馬観光の展開」と張 貴民による「雲南省新平彝族傣族自治州にみる花腰傣の村の変化」の成果があった。

これらの事例研究は研究プロジェクトの全体の研究目的に沿ったものであり、調査対象地域も調査対象となった少数民族も雲南省を代表するものとしてそれぞれを位置づけることができる。事例研究の中で、少数民族地域の変化のメカニズムを図式化し、その一般性を明らかにする試みがあり、一定の成果も得られた。それらをさらに発展させて、学会誌などへの論文投稿また登校準備中である。

研究プロジェクト全体としては、調査データの分析と更なる検討を重ねることによって、雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究を総括することを今後の課題としたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 29 件)

- ①張 貴民 (2011) : 中国雲南省における少数民族地域の変化—花腰傣の村を事例として— 愛媛の地理、21、65-76。(査読なし)
- ②張 貴民 (2011) : 中国における農村空間の商品化、田林明編著『商品化する日本の農村空間に関する人文地理学的研究』科学研究費補助金基盤研究(A) 研究成果報告書、461-473。(査読なし)
- ③張 貴民 (2011) : 半農半漁地域における農村空間の商品化—宇和島市を事例として—、田林明編著『商品化する日本の農村空間に関する人文地理学的研究』科学研究費補助金基盤研究(A) 研究成果報告書、394-404。(査読なし)
- ④白坂 蕃 (2011) : イタリアのアルプス山麓における羊の移牧にみる“日常”と“非日常”、立教大学観光学部紀要、第 14 号、18-42。(査読なし)
- ⑤池 俊介・宮口とし迪・湯川次義・米浜健人(2011) : 「過疎地域における廃校舎の活用の実態とその意義」早稲田教育評論、25 巻 1 号、39-56。(査読なし)
- ⑥池 俊介(2011) : 拉市海周辺における乗馬観光の展開、『中国雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究』(平成 20 年度～22 年度 科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書) 108-125。(査読なし)
- ⑦池 俊介(2012) : 「地域調査を活かした地理授業—1970 年代の多摩高校の実践の分析—」、早稲田大学大学院教育学研究科紀要第 22 号、1-15。(査読なし)
- ⑧池 俊介(2012) : 「地理教育における地域調査の現状と課題」E-journal GEO、7 巻 1 号 35-42。(査読あり)
- ⑨杜 国慶 (2012) : 中国雲南省における少数民族の分布について。立教大学観光学部紀要、第 14 号、74-82。(査読なし)
- ⑩杜 国慶・池 俊介・白坂 蕃・張 貴民 (2011) : 世界遺産観光が地域に与える影響に関する一考察—麗江市拉市海周辺村落の乗馬観光を事例として—。日本観光研究学会第 26 回全国大会論文集、405-408。(査読なし)
- ⑪白坂 蕃 (2011) : 中国雲南省西双版纳の基諾族にみる生業の変貌、『中国雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究 (平成 20 年度～平成 22 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)報告書)』、41-70。

- (査読なし)
- ⑫ 杜 国慶 (2011) : 統計データに見る雲南省の社会経済構造と変化。『中国雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究 (平成 20 年度～平成 22 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)報告書)』、19-37。
(査読なし)
- ⑬ 杜 国慶 (2011) : 雲南省の自然と民族に関する諸問題。『中国雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究 (平成 20 年度～平成 22 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)報告書)』、8-18。(査読なし)
- ⑭ 白坂 蕃・杜 国慶 (2011) : 中国雲南省北部のチベット族によるヤクの移牧。『中国雲南省における少数民族地域の変容に関する人文地理学的研究 (平成 20 年度～平成 22 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)報告書)』、71-107。(査読なし)
- ⑮ 杜 国慶 (2011) : ドバイにおける観光開発とその利害関係について。立教大学観光学部紀要、第 13 号、37-58。(査読なし)
- ⑯ 杜 国慶 (2011) : 中国の労働力送出に関する考察。立教大学観光学部紀要、10-24。(査読なし)
- ⑰ 山下清海・小木裕文・松村公明・張 貴民・杜 国慶 (2010) : 福建省福清出身の在日新華僑とその僑郷。地理空間、第 3 巻第 1 号、1-23、(査読あり)
- ⑱ 杜 国慶 (2010) : 都市観光に関する諸問題。立教大学観光学部紀要、第 12 号、49-57。
(査読なし)
- ⑲ 白坂 蕃 (2009) : 日本におけるスキーおよびスキー場経営と社会環境。田邊裕編『観光産業の現状と問題点-経済社会の変化と産業構造に与える影響-』日本産業リサーチセンター、101-124 (査読なし)
- ⑳ 白坂 蕃 (2009) : マレーシア、カメロン・ハイランドにおける hill station の形成と
蔬菜栽培の発展。立教大学観光学部紀要、No. 10、5-24 と 169-171。(査読なし)
- ㉑ 杜 国慶 (2009) : 中国少数民族の分布に関する考察。立教大学観光学部紀要、第 11 号、105-109。(査読なし)
- ㉒ 杜 国慶 (2009) : 中国少数民族の分布に関する考察。立教大学観光学部紀要『暮らしと観光-地域からの視座-』、133-140。(査読なし)
- ㉓ 張 貴民 (2009) : 僑郷における農村景観と農業—福建省福清市を例として—、愛媛大学教育実践総合センター紀要、27、pp1-11。(査読なし)
- ㉔ 池 俊介 (2009) : 「伊豆半島におけるダイビング観光地の成立と展開」立教大学観光学部紀要第 11 号、79-96。
- ㉕ 池 俊介 (2009) : 伊豆半島におけるダイビング観光地の成立と展開、『暮らしと観光-地域からの視座-』、立教大学観光学部紀要、217-244。
- ㉖ 池 俊介 (2009) : 身近な地域でのエクスカージョンの指導。田部俊充・田尻信壹編『大学生のための社会科授業実践ノート』風間書房、94-96。
- ㉗ 池 俊介 (2009) : 新地誌の学習スキル=習得のポイントはここだ 地域の実態把握のスキル。社会科教育 46 巻 11 号、58-59。
- ㉘ 杜 国慶 (2009) : 都市観光に関する諸問題。立教大学観光学部紀要、第 12 号、49-57。
(査読なし)
- ㉙ 張 貴民 (2008) : 世界文化遺産平遥古城と票号。愛媛の地理、19、49-54。(査読なし)
- [学会発表] (計 17 件)
- ① 白坂 蕃 : 招待講演「イタリアのアルプス山麓における羊の移牧にみる“日常”と“非日常”」 2011 年 6 月 18 日、地理空間学会 (筑波大学)。

- ②白坂 蕃：招待講演「スキー場開発研究からみえる観光日本」2011年11月12日、人文地理学会（立教大学）。
- ③杜 国慶・池 俊介・白坂 蕃・張 貴民：世界遺産観光が地域に与える影響に関する一考察—麗江市拉市海周辺村落の乗馬観光を事例として—。2011年12月3日、日本観光研究第26回全国大会（阪南大学）。
- ④ DU GUOQING: Human mobility, entrepreneurship, education and culture (Sapienza Rome University), Changes and Regional Difference of Naturalized Population in Japan. 2011年9月23日, International Geographical Union (IGU) GLOBILITY Commission 2011 meeting.
- ⑤白坂 蕃・張 貴民・池 俊介・杜 国慶：中国雲南省最北部における藏族によるヤク(Boss grunniens)の移牧。2010年10月2日、日本地理学会2010年秋季学術大会（名古屋大学）。
- ⑥張 貴民・白坂 蕃・池 俊介・杜 国慶：雲南省の少数民族地域にみる生業の変化—新平県南碱村を事例に—。2010年10月2日、日本地理学会2010年秋季学術大会（名古屋大学）。
- ⑦白坂 蕃・張 貴民・池 俊介・杜 国慶・大塚直樹：西双版纳の基諾族にみる生業の変容—中国雲南省少数民族地域の変容(4)—。2009年10月25日、日本地理学会2009年秋季学術大会（琉球大学）。
- ⑧池 俊介・白坂 蕃・張 貴民・杜 国慶・大塚直樹：拉市海周辺における乗馬観光の展開—中国雲南省少数民族地域の変容(3)—。2009年10月25日、日本地理学会2009年秋季学術大会（琉球大学）。
- ⑨杜 国慶・張 貴民・白坂 蕃・池 俊介・大塚直樹：統計データから見る雲南省の社会経済的变化—中国雲南省少数民族地域の変容(2)—。2009年10月25日、日本地理学会2009年秋季学術大会（琉球大学）。
- ⑩張 貴民・白坂 蕃・池 俊介・杜 国慶・大塚直樹：少数民族の分布特徴と共生のメカニズム—中国雲南省少数民族地域の変容(1)—。2009年10月25日、日本地理学会2009年秋季学術大会（琉球大学）。
- ⑪白坂 蕃・漆原和子・渡辺悌二・Ines Grigorescu：ルーマニアにおけるヒツジの伝統的移牧の変容。2010年3月27日、日本地理学会春季学術大会（法政大学）。
- ⑫張 貴民：宇和海沿岸半農半漁地域の変容—商品化する日本の農村空間に関する調査報告(4)—日本地理学会秋季学術大会（岩手大学）、2008年10月4日-5日。
- ⑬杜 国慶：世界遺産「麗江古城」の自然基盤に関する研究。2008年11月22~23日、第23回日本観光研究学会全国大会（長野大学）。
- ⑭DU GUOQING: Transition of Travel of Japanese Package Tours in China by Newspaper Advertisements. 2008年8月11-14, IGU (International Geographical Union)-Main Congress.
- ⑮ DU GUOQING: Monitoring Cities of Tomorrow”: Physical Foundation and Formation Mechanism of World Heritage: A Case Study of Old Town of Lijiang. 2008年8月4-10日, IGU (International Geographical Union)-Commission Conference.
- ⑯ DU GUOQING: Transition of Travel Destinations of Japanese Package Tours in China by Newspaper Advertisements. 2008年7月3~5日, 2008 Busan International Tourism Conference, 64th TOSOK Academic Symposium & Research Presentation.

⑰ DU GUOQING: Transition of Travel Destinations of Japanese Package Tours in China by Newspaper Advertisements. 2008年4月15～19日、Association of American Geographers (Boston, U.S.A.)

〔図書〕(計9件)

- ① 張 貴民 (2011): 巨大な人口を養う食料生産、上野 和彦編『世界地誌シリーズ2 中国』朝倉書店、61-70。
- ② 池 俊介 (2011): 「地理学習における時間的変化の視点の重要性」中等社会科教育研究 第29号 10-12。
- ③ 池 俊介 (2011): 中部: 東日本と西日本を結ぶ回廊、『世界地誌シリーズ 11 日本』176 ページ、朝倉書店、80-99。
- ④ 池 俊介 (2011): 哀愁のポルトガル。『世界地誌シリーズ 3 EU』朝倉書店、92。
- ⑤ 池 俊介 (2011): 『大学生のための社会科授業実践ノート』風間書房、155p。
- ⑥ 池 俊介 (2011): 田部俊充・田尻信壹・志村喬・深瀬浩三と共編 田部俊充ほか 10名と共著(執筆分「地誌学習」 pp36-42、「身近な地域でのエクスカージョンの指導」(pp138-139))。
- ⑦ 池 俊介・村上義和編(2011): 『ポルトガルを知るための55章(第2版)』、明石書店 268p。
- ⑧ 杜 国慶 (2011): 2 分布、23 帰化。石川 義孝編『地図でみる日本の外国人』ナカニシヤ出版、p73、p4 および p46。
- ⑨ 張 貴民 (2009): 中国山西省における観光資源とその商品化の問題。『暮らしと観光—地域からの視座—』立教大学観光研究所、117-132。

6. 研究組織

(1)研究代表者

張 貴民 (ZHANG GUI-MIN)

愛媛大学・教育学部・教授

研究者番号: 50291620

(2)研究分担者

白坂 蕃 (SHIRASAKA SHIGERU)

帝京大学・経済学部・教授

研究者番号: 40014790

池 俊介 (IKE SHUNSUKE)

早稲田大学・教育学部・教授

研究者番号: 30176078

杜 国慶 (DU GUOQING)

立教大学・観光学部・教授(現在)

研究者番号: 40350300